

2 予算案のポイント

「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて ～ 学びと自治の力で拓く新時代 ～ 「学びと自治の力」を発揮し、しあわせ信州創造プラン 2.0 の総仕上げ

◇ 学びの県づくり

【生涯を通じて学べる環境の整備】

学びの関係人口を拡大し、多様な学びを創造するため、今年度設立した Learn by Creation NAGANO 実行委員会において、国内外の学びに触れ、交流を深めるシンポジウム等を開催するとともに、実践活動を推進します。

◇ 産業の生産性が高い県づくり

【海外との未来志向の連携】

東京・北京の両オリンピック・パラリンピックを通じて相互に高め合った長野県と河北省との関係をより強固なものにするため、大学連携によるグローバル人材の育成や青少年スキー交流などの新たな展開に向けた協議を行います。また、協約締結5周年を迎えた韓国江原道・ソウル特別市を訪問し、観光・経済交流促進のための関係強化に向けた会談等を行います。

◇ 人をひきつける快適な県づくり

【移住・交流の推進】

コロナ禍における地方回帰の動きを好機と捉え、関係部局や市町村、民間事業者がオール信州の観点で連携し、移住者や二地域居住者を県内に呼び込むため、仕事と暮らしをセットにした情報発信や移住者受入体制の充実に取り組むとともに、都市部住民と県内地域とをつなぐ取組等、様々な分野の取組をパッケージ化して進めます。

【先端技術の積極的な活用・導入】

「長野県DX戦略」の具現化に向け、多様なデジタル人材の育成・誘致のため、デジタルを活用して創造的な活動を実施している者同士が互いに連携し刺激を与え合う機会を提供するとともに、その取組を全国に発信します。また、電子契約の導入や、市町村と共同で活用できる入札・契約関係システムの構築を行い、入札・契約手続の利便性向上を図ります。

【生活を支える地域交通の確保】

県民にとって身近な移動手段であり環境負荷の低減に資する地域公共交通の維持・確保のため、自家用車から公共交通への転換を促進するとともに、持続可能で最適な地域公共交通システムの構築に向けた取組を進めます。また、地域鉄道事業者の安全輸送や減災のための設備投資、駅舎のバリアフリー化等を支援します。

【信州まつもと空港の発展・国際化の実現】

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した空港利用の回復と空港の発展・国際化を推進するため、複便化した神戸線をはじめとする発着路線の利用促進に関係団体と連携して取り組むとともに、民間資金やノウハウを活用した空港の機能強化の検討を行います。

また、沖縄とのチャーター便の就航を促進し、官民一体のトップセールスや様々な共同企画の実施により両県の交流拡大を図ります。

◇ 自治の力みなぎる県づくり

【個性豊かな地域づくりの推進】

「地域発 元気づくり支援金」により、市町村や公共的団体等の自主的・主体的な取組を支援するとともに、「地域振興推進費」を活用し、地域振興局長がリーダーシップを発揮して地域課題の解決に取り組めます。

住民が主体となった地域づくり活動の拡大・活性化を図るため、活動の担い手や担い手を支援する人材の育成・確保・活動支援等に取り組むとともに、住民の地域づくりに対する意識の向上や主体的な関わりを促すための環境づくりを行います。

市町村の持続的・効果的な行政サービスの提供に資するため、国の支援制度が適用されない地域において、市町村が広域的に連携して実施する事業に対して助成します。

◇ 学ぶ県組織への転換

【総合的な施策の企画・調整】

客観的なデータに基づく政策立案（EBPM）を一層推進するため、職員に対しデータを活用した課題解決の進め方や、分析手法に関する知識・技術の普及を図ります。

【しごとの質と生産性の向上】

行政事務のデジタル化による県民サービスの向上及び業務の効率化を図るため、ICTの活用を推進します。